

生産性を向上する取り組み

長期的な成長に向けた投資とイノベーションを実現するために

グローバル・オペレーティングモデルを強化し、私たちの使命、目標、およびビジョンを達成する能力を向上

オリンパスは、「Our Purpose 私たちの存在意義」である「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」を目指し、持続的な成長を図るための価値創造戦略を策定しています。「事業拡大とグローバル展開」および「戦略的M&A」を推進するため、チーフストラテジーオフィサーはオリンパスのグローバル・オペレーティングモデルを見直し、新経営戦略における戦略的な優先事項に対応可能な組織を継続的に確保するための、新たなチームを立ち上げることを決定しました。私たちは、戦略的な目標に基づき、事業、機能、地域を横断した透明性のある迅速な意思決定を実現するだけでなく、効率的なリソース配分と継続的な能力開発を促進するオペレーティングモデルを構築することを目指しています。

オペレーティングモデルの検討は、右記の4つのテーマに基づいて構成されており、それぞれのテーマに応じた活動を行っています：

オペレーティングモデルの設計とガバナンス: グローバル・マトリックス事業運営モデルにおける役割と責任、組織構造とガバナンスを一層強化し、明確化することを目指します。これにより、事業、機能、地域の3軸間の横断的な連携と意思決定の円滑化を促進します。

人材と企業文化: オペレーティングモデルを実現するための、人材、企業文化、パフォーマンス志向のマインドセットを強化するため能力開発を推し進めます。

エンタープライズ・アーキテクチャとシステム: グローバル・オペレーションを実現するために積み上げてきたIT技術資産を徐々に強化、調和し、簡素化します。

生産性、効率、プロセス: 最適化されたオペレーティングモデルをベースに、プロセス・運用を簡素化し、厳格に投資をすることで効率の改善を目指します。

1

ハイパフォーマンスな組織を実現するために、グローバル・オペレーティングモデルを絶えず最適化します

2

新経営戦略における戦略的な優先事項への投資を促進するために、リソースの配分を支援し、資本を確保します

COLUMN: グローバルビジネスサービス(GBS)の進捗



グローバルビジネスサービス
バイスプレジデント
藤原 康俊

GBSは領域の拡大、移管業務の最適化を推進する新たなフェーズへ

オリンパスでは、2018年に他地域に先駆けて欧州でGBSを開始してから、グローバルに取り組みを展開し、この5年間でファイナンス、HR、購買、セールスサポート、サプライチェーンマネジメントの領域でグローバルに業務移管を実現しました。当社のGBSの基盤を構築した今、GBSは新たなフェーズに移行しました。当社では患者さんの安全を最優先に考え、その実現に向けてGBSにおいても品質保証・法規制対応(QARA)チームと協力して取り組みを行っています。2023年は、QARAのコンプレイント処理の一部プロセスについてGBSのプラットフォームを活用し、グローバルで業務の標準化、改善、効率化を図っています。今後も、グローバルでの連携を強化し、GBSのさらなる領域拡大および移管業務の最適化を推進し、企業価値の向上につなげていきます。